

# 「畳カルテ」診断理由について

## 1・三年以上畳替えをしていない。

→新畳（畳の表替え）から約3～5年で「畳の裏返し」をするのが理想です。  
年数の経過により、裏返ししても綺麗にならない事もあり（畳表の質にもよる）  
早めの畳替えが望ましいです。また、早めの「表替え」もおすすめです。畳がリフレッシュ  
するだけでなく、お部屋のミニ大掃除にもなります。

※・「裏返し」→現在お使いの畳の表面の畳表（ござ部分）を外し、裏面を表にして仕上げる作業。  
・「表替え」→畳の表面の畳表を新品に取り替える作業。

## 2・畳表が赤茶色に変色している。

→畳表が赤茶色状態の場合、永く畳替えをしていないケースが考えられます。畳・畳表の機能は新品ほど  
優れており、お部屋のリフレッシュの意味で畳替えが望ましいです。

## 3・畳表に傷や染みが見える。

→子供が元気なお宅や大家族のお宅など、年数が経っていなくても、傷や染みがある場合があります。  
一度状況をチェックして、適切なアドバイスが必要です。早めの畳替えでリフレッシュできます。

## 4・畳表が毛羽立っている。

→畳表は、ご使用いただくうちに表面が摺れてしまい、傷や毛羽立ちができてきます。  
表替えでリフレッシュしましょう。畳表の持っている優れた機能が復活します。

## 5・畳の縁が色あせたり、破れている。

→畳縁は時間とともに色あせたり、摺れて破れるなどしてきます。そうになると、もう畳替えの時期です。

## 6・畳の表面に凸凹がある。

→畳床（たたみどこ・畳の本体部分）に傷みが出ているか、床板の状態が悪いのか、いずれかだと思われます。  
状況をチェックして適切なアドバイスが必要です。

## 7・畳と畳の間に隙間が出来ている。

→隙間は見た目にも良くありません。怪我の原因にもなります。畳替えで解決します。

## 8・畳が敷居と平らでない、また畳に段差がある。

→原因として畳が敷居に比べて厚いか薄いかです。また、畳が年数が経っていて薄くなった事も  
考えられます。そのままですと、段差でつまづいたりするなどが懸念されます。  
適切なアドバイスが必要です。

## 9・畳の感触が柔らかく、沈む感じがある。

→畳床が古くなって薄く柔らかくなったか、極度の重量が部分的に加わった為に畳床の強度が  
無くなったかまた床板が傷んでいる等が考えられます。適切なアドバイスが必要です。

## 10・畳がカビ臭い。

→カビのチェックが必要です。カビ臭さの根本原因が畳である事は少なく、住環境や普段留守がちの場合  
また、お掃除の仕方原因があるなど、複雑であるため、状況をよく見極める事が解決のカギです。  
畳ドクターのアドバイスを参考にして改善してください。